

九十九里町観光振興ビジョン 概要版



令和6年3月
千葉県九十九里町

策定の趣旨

計画の目的

本町の観光は、県内でも高い入込客数を誇り、飲食業や宿泊業といった地域経済の幅広い業種に効果が波及する産業となります。しかし、現在は価値観やライフスタイルの多様化が進んだ結果、見る・買うという観光スタイルから滞在・体験という観光スタイルに変化しつつあるため、それぞれのニーズに応える観光振興が求められています。

また、本町においては、夏の観光リゾート地として多くの観光客で賑わう一方、その他のシーズンにおける観光客が少ないなどの課題も抱えており、今後とも本町が観光立町として発展していくためには、夏の観光客の満足度の向上を図ることは勿論のこと、オールシーズンで観光客が訪れ・賑わうまちづくりを目指していく必要があります。

そのため、令和6（2024）年度を計画初年度とする、新たな「九十九里町観光振興ビジョン」（以下、「本計画」という）を策定し、観光振興に向けたこれまでの取組を踏まえつつ、日本有数の観光立町の実現に向け、更なる取組の強化を図っていくこととします。

計画期間

本計画の期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とし、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3年間で取り組む施策を「リーディングプロジェクト」として位置付け、重点的な取組を進めていくこととします。

取組	実施年度				
	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
九十九里町観光振興ビジョン	→				
リーディングプロジェクト	→				

ターゲットの設定

■観光客のうち、九十九里町に訪れた回数が2回以上の方

69.5%

（アンケート調査より）

ターゲット①

リピーター

■観光客のうち、九十九里町に家族と訪れた方

80.5%

（アンケート調査より）

ターゲット②

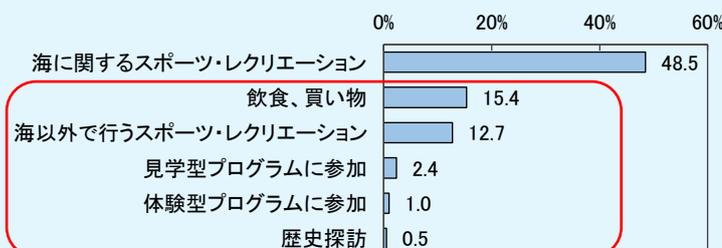
家族層

■近年、SNS等を活用した情報の拡散が期待されている

→ ターゲット③

10～20代の若者層

《本町への来訪目的》



（アンケート調査より） n=975

海に関する目的以外は少ない

→ 海以外の楽しみも提供していく必要がある

海水浴を楽しみ、「また行きたい」と思ってもらえるような充実した環境整備を行うことにより家族連れ、若者の更なる増加を図ります。

また、海水浴客は殆どが日帰りですが、本町の多様な地域資源を活用して、海水浴以外の楽しみも提供することで、長時間滞在や宿泊したいと思っただけの観光客の取り込みを図ります。



九十九里町観光ビジョン

本町では、夏の観光リゾート地として多くの観光客で賑わう一方、その他のシーズンでは観光客が少ないといった課題があり、今後の観光振興にあたっては、こうした課題を克服していく必要があります。また、夏に訪れた観光客に対して、これまで以上の満足感・充実感を提供することで、リピート率の向上につなげるとともにリピーターによる本町の観光情報の拡散につなげていくことも効果的になります。

これらを念頭に本町が目指す観光ビジョンは以下のとおりとします。

《九十九里町観光ビジョン》

片貝中央海岸を核とした集客力の向上と 観光客の街中への誘導

基本目標

1 夏の来訪者の満足度の向上

片貝中央海岸の環境整備をはじめ、本町の夏を満喫してもらうための様々な仕掛けを行うことで、リピーター層を増やしていくことを目指します。

2 通年型観光の土台づくり

夏の観光リゾート地である本町において、通年型観光を推進していくには、段階的に取り組んでいく必要があるため、その土台づくりを進めていきます。

3 観光ポテンシャルの磨き上げ

リピーターが訪れたい観光地としての質を向上させるため、観光サービスの向上と地場産品や郷土料理のブランド化を図り、観光産業の磨き上げを行います。

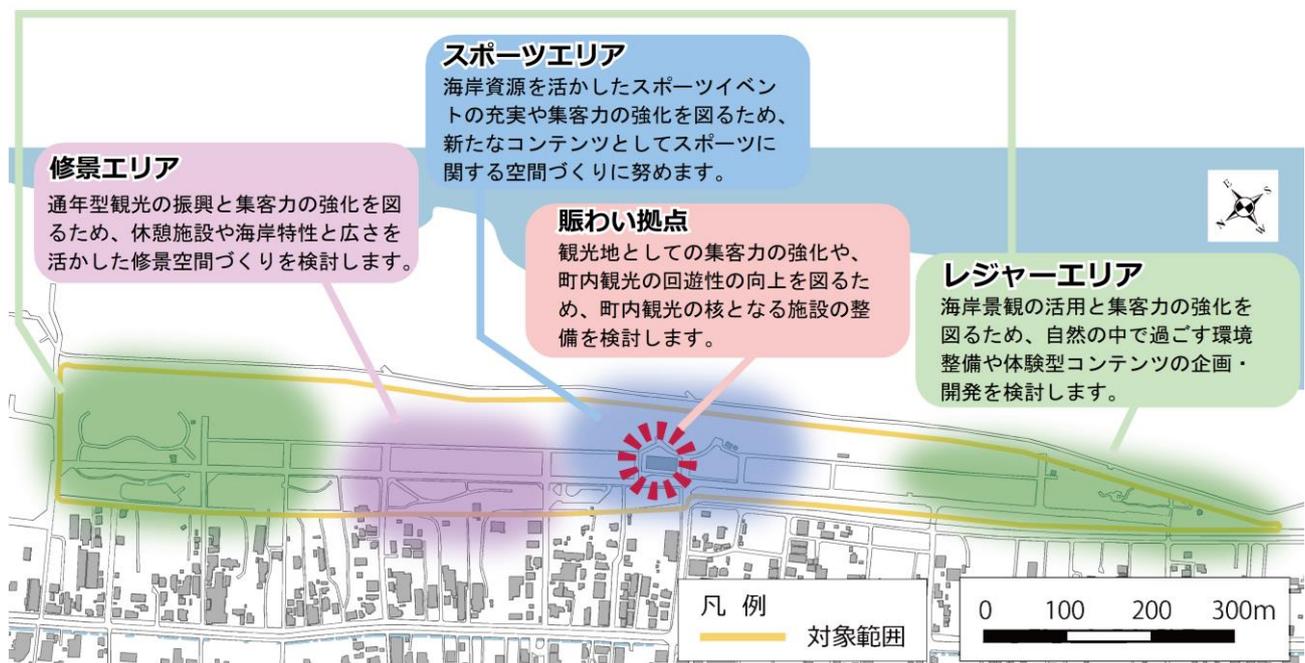
4 テクノロジーを活用した情報発信の向上

通信環境が急速に高度化し、SNS等による、観光情報の取得形態が容易となっているため、SNSを通じた更なる観光情報の発信を強化する必要があります。

リーディングプロジェクト

本計画では、片貝中央海岸の拠点化をリーディングプロジェクト（※計画期間の前半で重点的に実施する事業）に位置付け、観光ビジョンの実現に向けた計画全体を先導していく事業とします。

《ゾーニング図》



基本施策 1 夏の海を活かした観光振興

本町には、海水浴やサーフィンを目的とした夏の観光客が毎年多数訪れていますが、こうした観光客にとって、九十九里海岸の自然の雄大さと美しさに感動していただけるような、海岸のイメージアップや受け入れ態勢の充実、美しい景観づくりを推進します。

また、海岸の清掃等の美化などを図るとともに、海岸固有の自然環境の保全や活用を図ります。

さらに、海プラスワンの着地型観光を推進するため、関係機関や関係団体と連携し、新たなコンテンツの企画・開発を行います。

(1) 受入れ環境の推進

① 海水浴場の環境整備

本町の貴重な地域資源である海岸を有効活用し、海水浴やサーフィンを目的に訪れた観光客が、より快適な時間を過ごせるよう、海岸施設やその周辺部の環境整備を進めるとともに、来訪者の心に残る魅力的な景観づくりを進めていきます。



② 海水浴場の美化・清掃

海岸への漂着物やごみ等が観光客の満足度の妨げにならないよう、定期的な清掃による環境美化に努めるとともに、イベントや学校教育を通じた環境教育を推進し、町ぐるみで海水浴場の美化・保全を推進するため、町民への意識の醸成を図ります。



③ 自然環境の維持・保全

海岸部には、海浜群生植物のハマナシやハマヒルガオなどが自生しているため、海岸部の植生を維持・保全することで、緑豊かな自然景観を演出し、来訪者の満足度の向上につなげていきます。

(2) 夏の新たなコンテンツの企画・開発

① 海プラスワンの新たなコンテンツの企画・開発

夏の来訪者の満足度の向上と滞在時間の延伸を図るため、家族連れや若者をターゲットとした夏の新たなレジャーや夏の海を舞台とした新たなイベントなど、体験型観光を中心とした、海水浴プラスワンとなる新たなコンテンツの企画・開発を進めていきます。

★ロードマップ

取組内容	実施年度				
	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
(1) ① 海水浴場の環境整備					
(1) ② 海水浴場の美化・清掃					
(1) ③ 自然環境の維持・保全					
(2) ① 海プラスワンの新たなコンテンツの企画・開発					

基本施策2 食を活かした観光の振興

本町は、国内有数のいわしの漁獲高を誇り、ハマグリの産地でもあります。

また、温暖な気候を生かし、きゅうり、とまと、なす、いちごなどの農産物が生産され、その一部は摘み取り体験などに供されています。

魚介類や農産物を用いた「この土地の食」は様々な観光のシーンを支えており、同時にそれぞれのシーンにふさわしい食の提供が求められます。

こうした食に関しては、多くの来訪者の関心が高く、本町の観光振興を支える重要な資源として、更なる魅力づくりと普及啓発に努めていきます。

(1) 九十九里いわしのブランディングの推進

① 町民意識の醸成

本町が「いわしのまち」であることを広くPRするために、町民に対して、いわしに関する情報発信を強化するとともに、町民や町内事業者と一体となった、いわしメニューの開発を進めていきます。

また、学校給食や、学校行事として、子ども向けいわしクッキング教室を開催するなど、子どもたちがいわしに触れる機会の創出を図ります。



② いわしのPR・販売

本町が「元祖」いわしの町であることを広く浸透するために、情報発信を強化し、民間事業者等と連携した販売を促進していきます。

(2) ガストロノミーツーリズムの推進

ガストロノミーツーリズムとは、その土地の気候風土が生んだ食材や習慣、伝統、歴史などによって生まれた食や食文化に触れることを目的とした旅行です。

本町ならではの食を活用したガストロノミーツーリズムを推進していきます。

① 推進体制の整備

町内関係事業者との協力・連携体制の構築を図ります。

いわし以外の地場食材を使った新たな郷土料理の開発・ブランド化を進め、食のコンテンツを増やします。

② 食をテーマとした着地型観光の推進

食をテーマとした新たな企画や体験プログラムを検討していきます。

また、本町の地場食材を使って食を提供している各店舗を、本町の食を楽しめる「食の観光スポット」と位置付け、町内外への情報発信を強化するとともに、海水浴やイベント等で本町に訪れた観光客を「食の観光スポット」に誘導するため、観光ガイドやお食事処が記載されたグルメマップ等を配布します。

★ロードマップ

取組内容	実施年度				
	R6	R7	R8	R9	R10
(1) ① 町民意識の醸成					
(1) ② いわしのPR・販売					
(2) ① 推進体制の整備					
(2) ② 食をテーマとした着地型観光の推進					

基本施策3 通年型観光を目指した新たな展開

片貝中央海岸の夏以外の利用を促進することで集客力を高めるとともに、来訪者を街中に誘導することで、町内その他の地域資源に触れあい、知ってもらう機会の増加を図ります。

そのため、一年を通して、楽しんでもらえる既存資源の磨き上げや、夏以外に利用できる新たなコンテンツを開発するとともに、これら各地域資源間の回遊性を高めることで、魅力的ある着地型観光を推進します。

さらに、サーフィンが年間を通じてできるスポーツであることの周知・PRを行うとともに、サーフィンを活用しオフシーズンでの来訪者の獲得を目指します。

その他、美しい街並景観を整備することで、他では体験できない雰囲気味わえる空間づくりを進めます。

(1) 通年型観光を目指すための新たなコンテンツの企画・開発

① 海辺を活用した新たなコンテンツの企画・開発

家族連れや若者をターゲットとして、体験型観光を中心に、海辺を活用した新たな商品開発を進めます。

② 夏以外の新たなコンテンツの企画・開発

家族連れや若者を主なターゲットとして、体験型観光を中心に、夏以外に本町を訪れる動機となるような新たなコンテンツの企画・開発を進めていきます。

(2) 地域資源の活用

① 既存資源の磨き上げ

海や食以外にも歴史・文化、自然・産業に関わる様々な既存の地域資源の磨き上げを行うとともに、町内事業者が実施している体験型観光との連携を図り、観光地としての更なる魅力の創出に努めていきます。



② 地域資源の連携強化・回遊性の向上

地域資源間の道路整備や維持・管理に努めるとともに、回遊性を高める公共サインの充実を図ります。また、公衆無線LAN環境の整備やキャッシュレス決済の普及を図ることで、来訪の受入れ環境を整備します。

さらに、車以外の移動の回遊性を高めるため、シェアサイクルの導入に向けた実証実験を検討します。

(3) 景観まちづくりの推進

① 景観形成に向けた取組の推進

来訪者に感銘を与えるような景観づくりを進めるため、本町の特性に合わせた景観計画を策定するとともに、町民・事業者への啓発活動を推進していきます。

★ロードマップ

取組内容	実施年度				
	R6	R7	R8	R9	R10
(1) ① 海辺を活用した新たなコンテンツの企画・開発	▶	▶	▶	▶	▶
(1) ② 夏以外の新たなコンテンツの企画・開発	▶	▶	▶	▶	▶
(2) ① 既存資源の磨き上げ	▶	▶	▶	▶	▶
(2) ② 地域資源の連携強化・回遊性の向上	▶	▶	▶	▶	▶
(3) ① 景観形成に向けた取組の推進	▶	▶	▶	▶	▶

基本施策4 観光推進体制の強化

「九十九里」という有名な地名を最大限に活かすために、情報発信力の強化に取り組んでいきます。

また、町内（行政、観光協会、商工会、その他関連事業者、町民など）が一体となり、オール九十九里町として観光振興を進める体制づくりを検討します。

さらに、九十九里地域間の広域連携や、国・県と連携した観光施策を展開するなど、様々な手段を活用することで、町の更なる観光振興を進めていきます。

(1) 情報発信・PR

① 様々な手法を用いた情報発信の強化

SNS等を活用した多様な観光情報の発信に努めるとともにメディアへのPR活動を図り、情報番組等の誘致につなげていきます。

また、更なる情報発信力の強化を図るとともに、部活動の合宿や、都心部の高校や大学へのPR活動を推進する方策について検討を行います。



② フィルムコミッションの推進

町内の海岸、観光施設等のロケ地を発掘・創出するとともに、千葉県フィルコミッションとの連携により、映画やドラマ撮影などに対応した情報提供、受入れ体制(サポート体制)の整備・充実を図ります。

③ 本町ゆかりの著名人等と連携したPR活動

本町にゆかりのある著名人やYouTuberの方などに対して、観光大使や観光アンバサダーとして活躍して頂けるよう働きかけるとともに、インフルエンサーと連携した情報発信力の強化に努めていきます。

(2) 連携体制の強化

① 多様な主体間による連携の強化

観光ビジョンの実現に向けて、町が一丸となって取り組んでいくことが重要となるため、町内での連携を強化し、オール九十九里町で観光振興を推進する体制づくりを構築していきます。

また、国や県等と連携した観光施策を推進するとともに、必要に応じて、民間活力の導入によるコストの低減とサービスの高付加価値化につなげていきます。

② 広域連携の推進

九十九里地域に多くの観光客を呼び込むため、近隣市町村と連携した観光施策を推進するとともに、本町が観光客に選ばれるよう、地域資源の磨き上げと情報発信の強化に努めていきます。

★ロードマップ

取組内容	実施年度				
	R6	R7	R8	R9	R10
(1) ① 様々な手法を用いた情報発信の強化					
(1) ② フィルムコミッションの推進					
(1) ③ 本町ゆかりの著名人等と連携したPR活動					
(2) ① 多様な主体間による連携の強化					
(2) ② 広域連携の推進					



九十九里町観光振興ビジョン 概要版

令和6年3月

九十九里町 商工観光課

〒283-0195 千葉県山武郡九十九里町片貝 4099

TEL : 0475(70)3177 FAX : 0475(76)7934

Mail : kankou@town.kujukuri.chiba.jp